



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

マザーレイクゴールズ評価報告書 「シン・びわこなう2022」総括報告

マザーレイクゴールズ学術フォーラム

座長 岸本 直之

(龍谷大学 先端理工学部)



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

マザーレイクゴールズ (MLGs) とは？



「びわ湖」を切り口とした2030年の
持続可能社会への目標(ゴール)

→ **びわ湖版SDGs**

びわ湖や環境, 私たちの暮らしの目
指すべき方向性や具体的な目標と
して13の目標を掲げる。

図. MLGsの13の目標

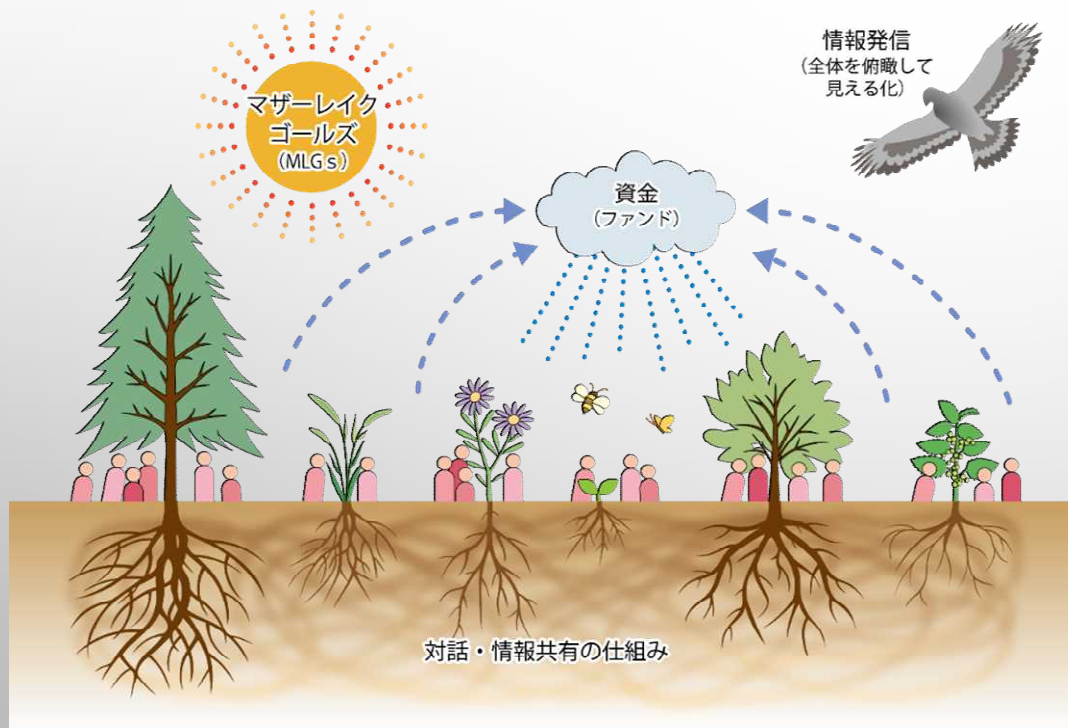
詳細は「シン・びわこなう2022」p.3を参照



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

マザーレイクゴールズ (MLGs) の基本的な考え方

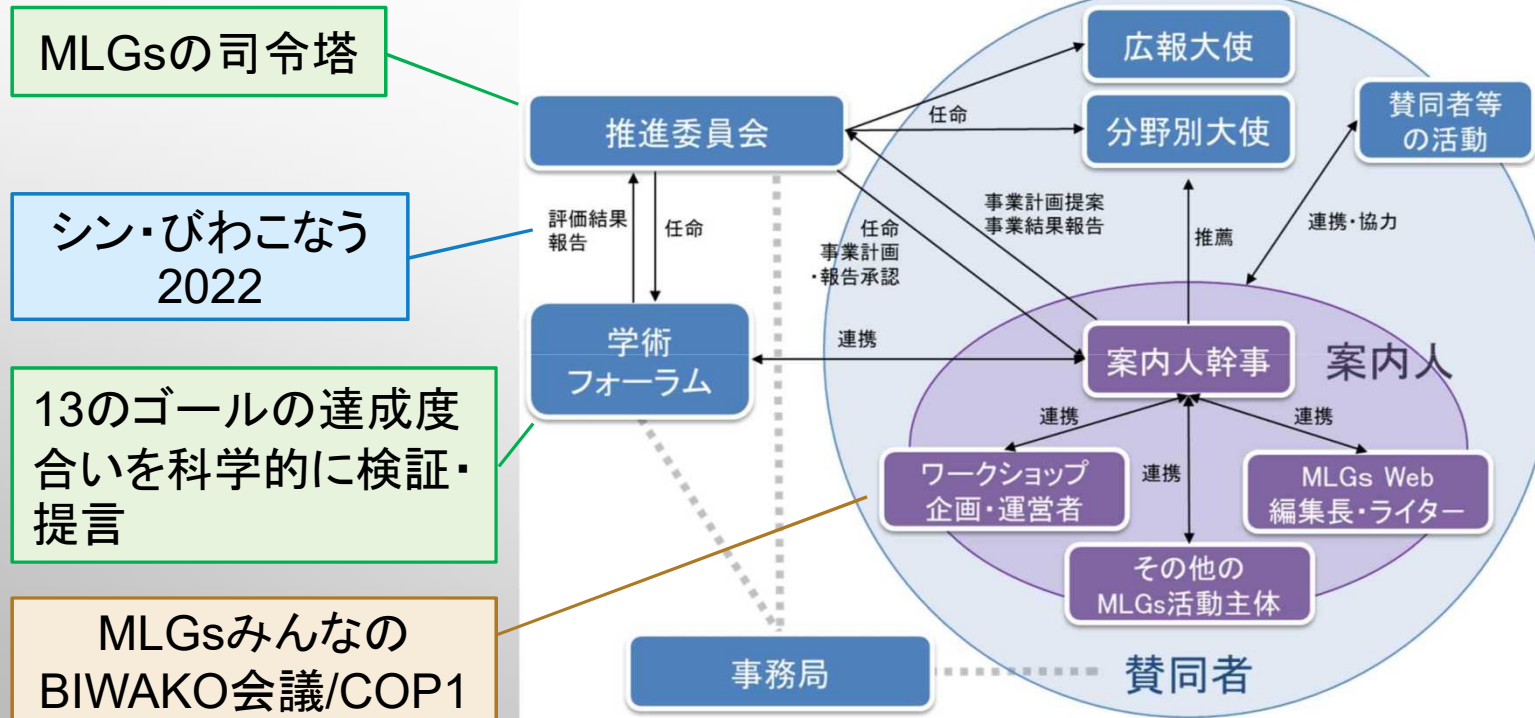


MLGsに呼応してアクションを起こした多様な主体をつなぎ、「多様な活動の生態系」を構築して、持続可能社会（自然と社会の健全な循環）の実現を目指す。

図. 多様な活動の生態系のイメージ



マザーレイクゴールズ(MLGs)の運営組織体制





Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

学術フォーラム委員

担当するゴール	所属 役職 氏名	専門分野	担当するゴール	所属 役職 氏名	専門分野
1 清らかさを感じる水に	龍谷大学 先端理工学部 教授 岸本 直之	水質システム工学	7 びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう	琵琶湖環境科学研究センター 総括研究員 金 再奎	環境システム学
2 豊かな魚介類を取り戻そう	国立環境研究所琵琶湖分室 分室長 馬淵 浩司	魚類の系統学、分類学 および分子生態学	8 気候変動や自然災害に強い 暮らしに	滋賀大学 経済学部 環境総合研究センター 教授 田中 勝也	環境経済学、 空間データ解析
3 多様な生きものを守ろう	琵琶湖博物館 学芸員 川瀬 成吾	魚類系統分類学、水族保全学	9 生業・産業に地域の資源を 活かそう	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 中村 貴子	農業経営学
4 水辺も湖底も美しく	琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員 井上 栄壮	陸水生物学(底生動物、ユスリカ)、 動物生態学	10 地元も流域も学びの場に	あさから野 子どもと自然舎 環境教育インストラクター 池田 勝	自然体験型環境教育、 野外教育
5 恵み豊かな水源の森を守ろう	京都大学 准教授 深町 加津枝	造園学・景観生態学	11 びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう	マキノ自然観察倶楽部 代表 谷口 良一	森から琵琶湖までの流域で行う 自然を活かした体験活動
6 森川里湖海のつながりを健全に	琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員 水野 敏明	森川里湖海の つながりの視点からの 魚類の生息環境評価	12 水とつながる祈りと暮らしを 次世代に	成安造形大学 芸術学部 教授 加藤 賢治	宗教民俗学、地域実践学
			13 つながりあって目標を 達成しよう	滋賀県立大学 環境科学部 講師 平山 奈央子	湖沼政策科学



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

2022年評価結果



13のゴール

各ゴールの評価結果

「持続可能社会の実現」=「継続的な取り組み」

特に**変化傾向が重要**！

緑色: 良い
黄色: 悪くはない
赤色: 悪い
灰色: 評価できない

緑色 ↑ 改善している
黄色 → 変わらない
赤色 ↓ 悪化している
灰色 ~ 評価できない

MLGs と琵琶湖・流域の関係性の図



出典:「シン・びわこなう2022」p.41, 42